

おとぼけ竜の小さな襖



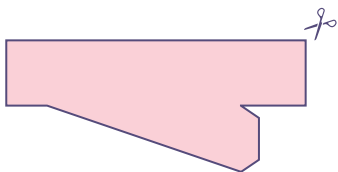
用意するもの

- ・ はさみ
- ・ のり

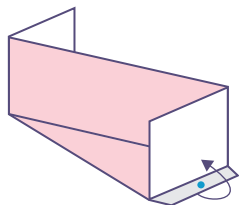


つくりかた

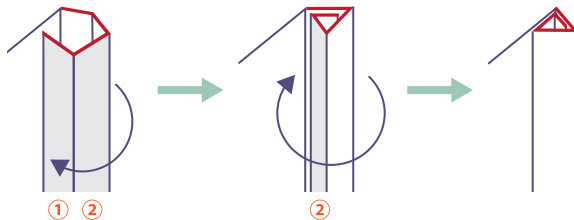
- 1 外側の太線に沿って切り取る。



- 2 山折り、谷折りの線に従って折り目をつけたあと、●を裏面に貼り合わせる。



- 3 ①・②の面にのりを塗り、2回巻き込んで柱をつくる。



できあがり。

江戸時代の絵は、掛軸のほか屏風や襖など、いろいろな形をしています。そのため、本で見た作品の実物を、その後、展覧会やお寺で見ると、見え方が違ってびっくり!ということがよくあります。これは京都・麟祥院にある海北友雪の《雲竜図襖》。百間は一見にしかず。実物はぜひ、展覧会でぜひご覧いただきたいのですが、まずは小さなペーパークラフトで襖絵のある空間に思いを巡らせてみてください。

春の江戸絵画まつり
へそまがり
日本美術
禅画からヘタウマまで